

大田区議会議員（無所属）

荒木ひでき 議会報告



電話一本
「走る何でも相談室」

号外 その 2 1

平成 16（2004）年 8 月 1 日発行

◆山 王事務所（安楽堂）

山 王 3-1-13 TEL 03(3771)4719

◆鶴の木事務所 TEL 03(3758)3864

鶴の木 2-16-7 FAX 03(3771)7613

◆<http://www.youmay.net/araki/>

◆[mail: arakihideki@livedoor.com](mailto:arakihideki@livedoor.com)

「あなたの提言」議会に届けます・5 ～あなたも提言してみませんか～

平成 15 年 11 月 27 日 第四回定例会 代表質問（50分）

- 職員の窓口対応は改善されたのか！？さわやか区役所の実現度は？
- 民間活力の導入は必要。しかし、委託後のチェック・評価が大切。
- 犯罪に強い街づくり
- 本会議登壇 6 回、遂に『ホームレス猫』に対する避妊助成決定！！

平成 16 年 3 月 10 日 予算特別委員会 総括質疑（50分）

- ある福祉施設で起きていること ～区民の生活と安全～
- 役所のサービス ～区民の側から見た行政のあり方とは～
- 産業経済 ～商売をする側の姿勢について～
- 防犯対策 ～大田区も決して安全ではない～

平成 16 年 3 月 18 日 予算特別委員会 款別質疑（10分）

- 小学校低学年の人間形成における先生の役割の大きさ

★新潟水害、緊急現地報告-三条市-(平成 16 年 7 月 22 日)★

討 議 資 料

◎第四回定例会（平成15年11月27日）・代表質問

職員の窓口対応は改善されたのか！？ さわやか区役所の実現度は？



自分の目で見て、
自分の言葉で喋る

荒木ひでき 最近、特に本庁舎での職員の窓口対応がよくなったという声を聞きます。窓口でうろうろしていたら、すぐ職員さんが飛んできてくれた。眼鏡を持ってこなかったので書類が書けなくて困っていたら、すぐにどこから眼鏡を持ってきてくれた。足が不自由な中、やっと区役所にたどり着いたら、職員さんが車いすを持ってきてくれて、窓口まで案内してくれたなどなど。もちろん苦情もまだまだありますが、どうやら、さわやか区役所はスタートラインに立ったようです。常にこのことについて苦言を呈してきた私にとっては喜ばしい限りです。区長から見た、さわやか区役所実現に対する現時点での評価を聞かせてください。

区 長 さわやか区役所3年の経過を踏まえてどう感じているかということですが、ゴールは遠いと感じております。というのは、やっぱり人間百様でございますので、そんな親切な人ばかりじゃないし、相手によってやっぱり感情が出る時があります。しかし、精いっぱいさわやか区役所の実現のために、今後とも職員とともども努力をしたい、こういうのが気持ちでございます。

民間活力の導入は必要。しかし、委託後のチェック・評価が大切。

荒木ひでき 民間活力の活用に関して。区民サービスの中には、民間活力の導入により迅速で多様なサービスが期待できるものがあります。民間活力の活用は大田区の新時代の自治体経営、経営改革にとって必要不可欠の課題であります。現に、大田区で既に一部民間委託を行っている図書館、学校給食、学童保育などは区民満足度の高いものとなっており、今後も行政への積極的な民間活力の導入が必要であると考えております。

しかし、民間委託をすれば全てが良なるのかということ、そうとばかりは限りません。民間委託に関し私が新しい課題であると考えているのは、区民の皆様と直接接する業務を行っている人の問題です。日曜祭日における区民施設の利用者から、そういった人に関する苦情が現実に私の耳にまで届いています。この一例をもってすべてを論ずることはできませんが、民間が全て良いというのは幻想です。民間に丸投げすればそれで行政の責任は果たしたというのではなく、委託後も行政として責任を持って、その業務の遂行をチェック、評価する必要があるのではないのでしょうか。特に福祉に関する部分では、先日の決算特別委員会でお話をしましたように、高齢者入所施設をはじめ格段の配慮が必要であると考えます。今後、委託先の民間業者に対するチェックや業務評価を誰がどのように速やかに行っていくのかという点に関して、区長にお答えをいただきたいと思っております。

区 長 全て業務を民間に委託すればいいんだというような考え方に立っているわけではありません。民間に任せたからすべていいかということ、逆に民間がやったばかりにいろいろな苦情が来ているというのもないわけではありません。そうすると、また、そこで切りかえると直るといようなこともありますので、それは発注者としての立場の責任を放棄してはいけません。これは施設の管

理ばかりじゃなくて、介護保険の問題でもやっぱり同様でございます。支払者としての責務、そういうものを感じながら、民間事業者のやっていること、そういうものをフォローしていく。そういう姿勢で今後とも望みたい。このように思っております。

犯罪に強い街づくり。

荒木ひでき 私は、住民の生命、財産を守ることに、よりよい治安を提供することこそが政治・行政の最大の責務であると考えます。どうやら、水と安全はタダという時代はとっくに過ぎ去り、地域で犯罪と戦い、安心・安全を自分たちの手で守っていく時代が来たようです。

犯罪対策や防犯には大田区内各警察署との連携が大切であると考えますが、わがまち大田や青少対以外、行政のどの部署が各警察署と連絡をとっているのか、お答えください。頻繁に情報交換を行っている窓口はどこかということです。

区 長 治安を守るときに、やはり危険を伴いますから、そういうときにすべて当事者が解決に当たるといってしまうのはどうしても困難ですから、警察との連携を持って治安を守る。これは区役所の場合ばかりでなくて、区民の皆さん方にもぜひその点を心得て行動していただかないとまずいのではないかと、そのように考えております。区、区民、事業者、警察、よりよき連携がとれるように、今後とも努力をしてまいりたい。一体全区区役所の窓口はどこなんだと。正直言うと、すべてが窓口、その当事者になるところが窓口なんです。総括的には区民生活部で面倒を見てくれる、こういう方向で警察と当たってもらいたい、こういうことにしたいと思っております。

荒木ひでき 平成15年度大田区一般会計補正予算事項別明細書37ページに、緊急地域雇用事業として安全対策重点地区の防犯パトロール、公園の防犯パトロール、河川敷の防犯パトロールとありますが、これらの事項に関する詳細をお答えください。また、これらの事業が短期的なものなのか、継続性のあるものなのかという点も含めてお答えください。

区 長 補正予算でお願いしている雇用問題としての取り組みの公園パトロール、あるいは河川敷のパトロールですが、実はこれは国の雇用緊急資金が流れてきて、それを充てているものですから、平成16年度まではこのお金が使えるんです。でも、17年度についてどうなるかは、今のところわかりません。したがって、これについては16年度まで行う予定でございます。

安全対策重点地区の防犯パトロールは、4警察と相談をして、週4回、場所をある程度決めながら進めていこうと、1月から実施をいたします。公園の防犯パトロール、これは主として区立公園で、毎日あるいは1日おきに夜間を中心にパトロールを行います。12月から実施をしていきたいと思っております。河川敷パトロール、これは多摩川緑地を毎日、早朝にパトロールさせていただきます。1月から実施をいたします。いずれも民間の警備会社等に委託をしたいと考えております。

荒木ひでき 隣接区などで児童連れ去り未遂事件などが連続して発生しています。このようなときにこそ、平成13年度から実施している、こどもSOSの家事業が地域の方でいつも子供たちを見守っているということの具現化として大きな意味を持っていると考えます。この制度の現況をお答えください。

区 長 こどもSOSの家の現況でございます。平成13年7月から実施をいたしました。実施時点では協力会員数が4147、平成15年11月1日現在、4702件でございます。これらの方々が駆け込みを受け入れる、こういうことに相なっております。

実際に今日までに何か避難してきた子供があるかという事例でございますが、13年度に2件、14年度に1件、それぞれ公園で見知らぬ人に声をかけられて、後をつけられたので怖くなって助けを求めた、こういう事例でございます。子供の安全を見守るために有効であった、こういうように考えております。

本会議登壇6回、遂に『ホームレス猫』に対する避妊助成決定！！

荒木ひでき 私がホームレス猫の問題を本会議場で取り上げるのは今回で6回目です。何度も申し上げますが、猫より人間の問題の方が先だろう、それでも区議会議員かとお叱りを受けたり、激論の末に口をきいてくれなくなった人もいます。議員としてホームレス猫問題を取り上げることの余りの際どさ、難しさです。私は常々、ホームレス猫の問題は単なるペットの問題ではなく、教育問題なのだと訴えてきたところです。すなわち、アリでも金魚でも鳥でも猫でも犬でも、どんなに小さくても命があるのだ。決して命を粗末にはしてはならないのだということを、このホームレス猫の問題を通して考え、実践してもらいたいのです。今の時代だからこそ、子供たちに命の大切さ、尊さを具体的に示す問題として考えてもらいたいのです。さらに申せば、ホームレス猫はもともとこの世に存在していたものではありません。人間の勝手な論理と行動の結果、生まれた存在なのです。この問題の根源とも言うべきそのことを、いま一度よく考えてみてください。一見遠回りのように見えてしまいがちですが、このような一つ一つの積み重ねが、青少年の凶悪な犯罪を防ぐためには、より確実な道なのではないでしょうか。

小学生に対する教育。小動物の命に対する優しさを今こそ徹底すべきだと思いますが、区のお考えをお聞かせください。

教育長 私も青少年の凶悪な犯罪が報道されるたびに、本当に何とも言えないような気持ちになってしまいます。今後とも命に対する優しさ、尊さを教育していくことを徹底してまいります。

荒木ひでき 東京都大田区飼い猫の去勢・不妊手術助成要綱の「飼い猫に対する助成」を「猫に対する助成」と改正することはできないか、お聞かせください。

区 長 今、猫の去勢については、獣医師会と契約を結んで、家庭猫については助成をやっております。ホームレス猫はやっておりません。というのは、やったはいけれども、その後がまた放置されたのではちょっと具合が悪い。そういうことで助成対象にいたしておりません。しかし、妊娠しなくなるという状態になれば、先ほどご指摘があったように漸減していくであろう、こういうことは言えると思いますので、十分研究してみたいと思います。できるだけなくす方がいいんですが、そのときはだれか引受人がいてくれると、私どもとしては一番やりやすいんですね。面倒を見るからちょっと助成してくれよと。そういうような体制がとれば、その人が飼い主だということで、やってもいいかなと、今聞いていてそういうように思いました。ぜひ、よき飼い主を探し出してください。14年度の避妊の実績は1400匹でございます。

◎予算特別委員会（平成16年3月18日）・総括質疑

ある福祉施設で起きていること ～区民の生活と安全～

荒木ひでき 私のところに、ある老人福祉施設に入所されている5人ぐらいの方が去年と今年3回ほど訪ねてこられました。お話しを伺うと、施設の中がとてもぎくしゃくしていて苦しい、何とかならないものかということでした。一番つらいのがまず言葉の暴力。2番目は話を聞かない、聞いてくれない。人格を否定される。個室でガスを止められた、自室で新聞を読めなくなった、郵便物を勝手に開けられた、自室に無断で入ってくる等々でした。

もちろんこの方々のご意見に対して、施設側の言い分もあるでしょう。しかし、この方々の泣きながらのお訴えを聞いていると、本当にこれでいいのかという気持ちになるのと同時に、とても腹が立ちました。そこである理事者の方に相談をしたら、荒木さんそれは例えば大田区内の民間の病

院で、あそこの医者が悪い看護婦が悪いから大田区に取りかえてくれと言っているようなものだよと。これは完璧に民間なのだから、どうしようもないじゃないという話なのです。この理事者の方が仰っていることはわかるのですが、だからと言って、大田区とは全く関係がないよというのでいいのかなど。この施設は昔から大田区と縁があって、例えば理事者のOBの方がこの施設に再就職されているんです。この問題が、もっと深刻な問題になって何かひどいことが起こらないうちに、早いところ解決していく必要があるのではないのでしょうか。何もせずに手をこまねいて見ていたら、大田区の老人（入所されているのは大田区の方ですから）の方がとんでもないことになってしまうのではないかと、という気になって仕方がないのです。私はこれを見過ごすわけにはいかないと考えています。どなたかお答えを願いたいと思います。

助 役 ただいまお聞きした事例は、その福祉施設の事業執行にかかわることでもございまして、区として直接どうのこうのというのはなかなか難しい点はございますけれども、実際に利用されている区民からのお話をいただきましたので、その内容を十分施設へ伝えて、実態をよく調査し、その上で改善すべき点があれば対応していただくように申し伝えたいと思います。

役所のサービス ～区民の側から見た行政のあり方とは～

荒木ひでき 大森駅近くの区民使用頻度の高い駐輪場の看板に、「自転車を利用される方へ。大田区土木部交通安全対策課自転車対策係。電話番号3773-5566」と書いてありました。私ここに電話してみました。「ただいま使われておりません。」それで、この番号を調べてみたら、昭和63年4月から平成10年5月6日まで使っていた電話だそうです。また、この看板にある「土木第一課」とか、「大田区土木部交通安全対策課自転車対策係」とかというのを見て、一体区民をなめているのではないかと思いました（注：これらの部署は現在、存在はしていない）。本当に、区の行政の第一歩として、ちゃんと組織が変わったら変わったなりに対処すべきではないでしょうか。看板を全部直さなくたっていい、例えばシールを張ればいいのだから。

と、この問題はどうか考えるのだと私はこの場で言おうと思って、今朝オートバイでそこの公園の前を通ったら、直っていました。おととい通告したばかりで、いや大田区は仕事がすごい早いですね。もう感心してしまって、それもしっかりと「まちづくり推進部」というのをテプラで作ってあって、もっとすごく感心したのは、ガムテープを張ってその上にマジックで書いてありました。私はそれでもいいと思う。要するに区民の皆様にお知らせするという姿勢、私、こういうことが他のところでも、多分たくさんあるのではないかと考えて心配しています。私が悔しいのは、そこの自転車駐輪場ってちゃんと事務所まであって、そこにいる係員の人が毎日毎日周りを見ているわけでしょう。こういうことだと、民間委託とは一体どうなのだという話になるから、これはきちんとしなくてはだめだと思うので、ぜひ話を聞かせてください。

大田北地域行政センター長 組織が変わったときに見落としがないようにということで、一生懸命回ったところでございますけれども、ご指摘いただきましたように見落としがあったということでございます。大変に恥ずかしいことで、速やかに直していかなければいけないということでございまして、今回そういう意味で早速訂正をさせていただきました。これで他には無いはずでございますが、万が一見落としということがあるとすれば、私ども直ちに対応しなければと思っております。ご指摘ありがとうございます。

荒木ひでき 勘違いされると困るのだけれども、大田北行政センターの話だけしているのではなくて、大田区全体としてどういう意識でやっているかという問題なのですよ。それはどうですか。

まちづくり推進部長 当部のことでございます。回答は先ほど大田北地域行政センター長が答えたことと全く同じでございまして、自分の署名、名前を名乗れない人間というのは、多分どうしようもない人間ですので、それは早速改めるようにいたします。本当に申しわけありませんでした。

産業経済 ～商売をする側の姿勢について～



全国鶴の木まつりの賑わい
努力をすれば人は集まるんです!!

話を聞きます。特に部長に至っては、そのイベントの当日に奥さん、子どもさんを連れてそのイベントを見にきてくれたのです、それも日曜日に。それでもっとすごいのは、それは産業経済部の人ではないけれども、たまたま買い物に来ていた区の理事者の方が「手伝いますよ」とマイク持って呼び込みをしてくれたのです。

結構、本当に心ある区役所の方は、そうやって何とか商店街を盛り上げてやろうと思っている、そんな気持ちがひしひしと最近伝わってくるのは確かです。役所はしっかりやっているのだから、あと残るのは売る側、商人、個人だなど。あとは気合いが入るだけだなど。もしそこで気合いが入っている商店なんかあったら、1円でも多く儲けられるように何とか役所を使いたい。役所に使われるのではなくて、役所を使いたいなど考えるのが、本当の筋論ではないかなとしみじみ考えています。

それで産業経済部長にお聞きしたいのは、16年度の産業経済部の予算ありますよね。これ見て大体予算というのは顔、今度は何をしたいのだという意思表示というのか、今度はこの予算でこれこれがしたいのだよというのがあるはず。それについて、是非お話をお聞かせ頂きたい。ひとつよろしくお願いします。

産業経済部長 産業経済費の予算をつくる際の気持ちはということでございますが、既に予算書をもらっていただいているのでおわかりいただいているのかなと思いますけれども、一日も早く区内の産業が活性化をして、かつての輝きのあるものになりたいなということで取り組んでいます。

防犯対策 ～大田区も決して安全ではない～

荒木ひでき 朝日新聞の1月20日付け紙面に、地域別犯罪件数の統計が載っていて、例えば私の関係ある鶴の木とか山王を見ていますと、驚くほどの数字が上がっていて、住んでいてちっとも知らなかった。これ去年の2003年1月～10月の累計と書いてありますけれども、これを読んだうえで、緊急雇用対策での防犯パトロールに関して、ぜひお答えを願いたいのですけれども、今どういう状況なのかちょっと教えてください。

区民生活部長 この防犯パトロールは15年度から始めております。それで、区内の犯罪多発地帯の道路だとか、あるいは区内の公園、河川敷、こういったところに民間の警備会社に委託をしております。2～3名の体制でパトロールをしていただいています。16年度からは建物構造になっております自転車駐り場、こどもパトロールをこれから始める予定でございます。

荒木ひでき 今心配しているのは、自治会・町会・PTA・消防団とかが自分たちで防犯組織をつくって地域で回ろうなんていう話をしているところがあるのです。それは警察の方とお話をしたら、それはちょっとと、首をかしげているのです。そういう動きご存じですか。

区民生活部長 もともと区内には防犯のための自主的な組織がございまして、中にはそういった活動を実施しているというお話は聞いております。

荒木ひでき 防犯、それはやはり専門職がやってこそ、例えば地域の人が回るのなら警察の人と一緒に回って啓蒙活動だけを行うとかにしないと、私は非常に危険なのではないかなと考えているのです。またそれと同時に、何でこんなすばらしい防犯パトロール、いい事業をやっているのに、PRをしないのだろうと。これは最高の抑止力になると思うのです。例えばパトロールが回っていますというようなことでも、区報でも何でも結構ですから広報したらいいと思います。それが何でしないのかなと不思議でしょうがないのですよ。

区民生活部長 この防犯パトロールを始めるに当たっては、区報でもって既にご案内をしております。例えば区報の1月11日号と21日号の合併号がございましてけれども、こういった取り組みをしますよということで、これをやったからってすぐに犯罪がどうのこうのということではなくて、こういうことをやっていけば不審者、犯罪に遭遇する機会は少なくなると、犯罪の抑止効果がやはり期待できますので、今後もPRは積極的に努めていきたいと思っております。

荒木ひでき 例えばそれを載せたからといって、すぐ即効性で犯罪がなくなるというわけではないし、そう思ってもないけれど、ぜひどんどんPRをして、大田区はこういうことをやっているよというのをアピールしていかなかったら、もったいないでしょう、せっかくいいことをしているのだから。ところで、これは緊急雇用事業となっていますけれども、区の単独ではいかがなものですか。

区民生活部長 先ほども犯罪抑止機能の低下が挙げられてございまして、こういったものは区が直接実施するよりも、やはりまちの人たちが防犯パトロールを始めまして、区民と連携しながらそういった活動の輪が広がっていくことが望ましいということで考えております。

◎決算特別委員会（平成16年3月18日）款別質疑

小学校低学年の人間形成における先生の役割の大きさ

荒木ひでき 小学校1年生の時の担任の先生というのは、人間形成にとっても大切な人たちなのです。幼児期を過ごしてきて今考えると、初めて大人の人と向かい合ったなという感じがしているのです。基本的に、しつけは家庭でやるべきだと思うのですがけれども、学校の担任の先生の個人的な影響力はすごく大きいなと今も感じています。そこでお聞きしますが、区内60校の小学校1年生の先生を選ぶとき、教育委員会はどういうふうにして選んでいるのか、どなたか教えてください。

教育委員会指導室長 各学校によってその選び方は異なると思いますが、校長先生は、新しく入った1年生が学校生活に安心して溶け込めるような、そういう人格、また見識のある人を1年の担任に配置するというように考えております。

新潟水害現地緊急報告：三条市（平成16年7月22日）

詳細は次号にてご報告します



五十嵐川堤防決壊現場、多摩川が心配です



ここ、もともとは水田なんです



速やかなゴミ処理が行政の重要な課題です



ボランティア仲間の熱意・やさしさ、大感激です

超現場主義



電話一本！！『走る何でも相談室』

いつもバイクで走っています。
お気軽にお声をおかけ下さい。

大田区議会議員（無所属）

平成16年度所属委員会

◎健康福祉委員会 ◎防災対策特別委員会
付 属 機 関 委 員

◎消防団運営委員会 ◎文化振興協会評議員

プロフィール

- 出身地：大田区 昭和25年1月13日生まれ
- ・若草幼稚園
 - ・大田区立山王小学校 卒業
 - ・大田区立大森第三中学校 卒業
 - ・法政大学第二高等学校 卒業
 - ・法政大学法学部法律学科 卒業
 - ・平成3年 故新井将敬代議士の秘書となり国政・区政を猛勉強し、平成6年公設秘書、地元責任者となる。
 - ・平成7年4月大田区議会議員初当選
 - ・平成11年3月 同 2期目当選
 - ・平成15年4月 同 3期目当選

座右の銘：受けた恩を石にきざむ